

多彩なジャンル 絵画作品目引く

ピントゥーラ会員展

洞爺湖

洞爺湖町の絵画サークル・ピントゥーラ会（松本ます子代表）の第6回会員展が、20日から町役場ロビーで始まり、11人の作品29点が来庁者の目を楽しませている。7月1日まで。

油彩、水彩、アクリル、木版画など多彩なジャンルで1人1〜4点出品。加藤キヨスさんは、陋屋の荒々しさを力強いタッチで描いた「トッカリシヨ」な



洞爺湖町役場来庁者の目を楽しませているピントゥーラ会員展

ど油彩2点、森嘉信さんは多色刷りの木版画によるダリアと牡丹を展示した。

ピントゥーラは、スペイン語で「絵を描く」という意味。町内や伊達の会員らが月2回、町健康福祉センターさ
わやか別館に作品を持ち寄り、技術向上に励んでいる。松本代表は「仲間が増えるとなお楽しい」と入会を呼び掛けている。問い合わせは松本代表（電話0142・76局2613番）へ。（菅原啓）